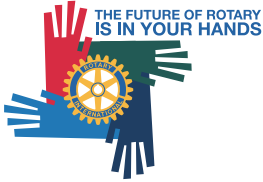




日出ロータリークラブ週報

第 2720 地区 Rotary Club of Hiji



2009～2010年度RIテーマ

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

ロータリーの未来はあなたの手の中に



RI会長
ジョン・ケニー



RI第2720地区ガバナー
山崎 勝



RI第2720地区ガバナー補佐
加藤 兼司

例会日 火曜日 19時00分
 例会場 日出町 別府湾ロイヤルホテル
 事務局 〒879-1502
 大分県速見郡日出町大字藤原6005-50
 (有) 大分コンストラクション
 TEL.0977-73-1301 FAX.0977-73-1304

会 長 鈴木 貫 史
 副 会 長 秋 吉 尚 康
 幹 事 小 路 郁 郁
 クラブ広報委員長 河 野 一 幸

- 点 鐘 19時00分
- ローターソング 手に手つないで
- ゲスト 寺尾英夫氏(NPO「緑の大地の会」)
チン・カホウさん(米山奨学生)

会長の時間 会長 鈴木 貫史



皆様、今晚は。まだまだ日々の暑さの中にも雨が強く降ったりと安定せず、寝苦しい日々がつづいています。本日の卓話は、私の恩師でございます寺尾教授にお願い致しました。先生の卓話を少しでも長くして頂くためにも、この会長の時間で、先生の御紹介をさせていただきます。

先生は、長崎大学医学部を卒業後、消化器病学、特に肝臓病学の臨床、研究をつづけ現在、大分大学教授、保健管理センター所長をされ、医学部付属病院での肝臓専門外来、また大学の学生、職員に対しての健康管理などもされておられます。

先生は、肝臓病学の中でも、ウィルス性肝炎の疫学的、臨床的研究。また、肝細胞癌の予防、診断、治療法の研究を行っており、H11年よりは、日本肝臓学会大分県責任者として指定され、大分県内の肝臓学会の指導者であります。

遠い昭和63年、寺尾先生と私のオーベン（指導者）の多田先生と私とでウィーンでの国際学会に出席発表をする機会以来、先生とは親しくさせて頂いております。その後、多忙の中でも、私どもの鈴木病院に月に1～2度、肝臓外来をつづけて頂いており、感謝申し上げる次第です。

また、先生は大分大学とドミニカの大学とのJICAを通じた国際交流で支援、指導も長く行っており、当地の日本大使館をはじめ、ドミニカでも先生はVIPな方です。ところが、最近はまだ、先生を敬愛する周りの方々が、NPO法人「緑の大地の会」の設立に先生を理事長として立ち上げ、活動を開始していることをうかがいました。本日は、

2009-10年度
ロータリーを楽しもう
 日出RC会長 鈴木貫史

日出ロータリークラブホームページURL
<http://www.hijirc.com/>

— 四つのテスト — 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

■出席報告		西田和昭委員長	
会員総数	13名	ゲスト	2名
会員出席数	12名	ビジター	0名
出席率	92.3%	出席者数	18名
前々回出席率	100%	修正出席率	100%
100%連続回数	0回	100%通算回数	351回
出席免除	山田滋彦		
●欠席	河野一幸		

先生のこの「緑の大地の会」の目的や、活動などについて話をお聞かせ頂きたいと存じます。

国際ロータリーでは、ポリオ撲滅、水、衛生設備等の援助をするなど国際奉仕としての役割（主題）があります。しかし、地球温暖化の問題は地球規模の様々な問題があり、現状では政治的な環境問題となっており、G8を含めた世界の問題として取り組んで行こうとしているところです。その世界的な問題の中にあっても、このように身近なこととしてとらえ、それぞれにあったやり方で、一步一步すすめる取り組みには尊敬する次第です。我々小さなロータリークラブでも何か出来ることはないかを考えずにはおられません。

本日は、寺尾先生どうぞよろしくお願い致します。

■ 幹事報告 幹事 小路 郁

1. 本日の予定 外来卓話
NPO法人「緑の大地の会」
理事長 寺尾英夫様
(大分大学教授 保健管理センター所長)
2. 次週の予定
7月25日(土) ビアガーデン納涼親睦例会
場所：ホテルサンバリー 時間：19:00～
7月28日(火)は7月25日に例会変更
3. お知らせ
※週報NO.1～2までホームページにて閲覧可能です。
4. お知らせ
※宇佐RCから週報が届いています。
※竹田RCから週報が届いています。

5. 例会変更のお知らせ

湯布院RC……7月29日(水)は夜の親睦例会の為、18:30～【由布両築】に日時・場所変更

中津平成RC…8月6日(木)は納涼例会の為、18:30～【割烹嘉乃】に場所変更

■ ニコボックス

- ・鈴木貫史会長：(T)本日は寺尾先生、卓話にお越し下さいまして有難うございます。また、7/19(日)のゴルフで8ヶ月ぶりにもかかわらず、89と立派なスコアが出ました。今後ゴルフにもがんばります。
- ・佐藤英隆会員：(S)薬剤師会合のために欠席いたしました。薬学会ポスターを回覧いたします。是非ビーコンプラザでお会いしましょう。本日の外来卓話の寺尾教授には、薬剤師会でも講演を頂きました。またわが調剤薬局もお世話になっております。今後ともよろしくお願い致します。
鈴木会長が、ゴルフで89と言うスコアを出したそうで(恐らく今年初ラウンドではないかな)心よりお悔やみと同時に怒りを申し上げます。
- ・佐藤洋六会員：(W)①開園を楽しみにしていた別府ラクテンチ、花火が上がると3才の孫より電話でおさそいを受け、楽しい一日を過ごしました。②ジイジイとバアバアは大分NHKホールで開催された日出小4年生の孫のピアノ発表会に招待されました。
- ・西田和昭会員：(W)ランチバイキング1700円
ディナーバイキング3500円、当ホテルではじめました。皆様のお越しをお待ちしております。



ゲスト卓話 NPO法人「緑の大地の会」の活動について

NPO法人「緑の大地の会」 理事長 寺尾 英夫氏

大分県立三重農業高等学校は平成7年より東マレーシア・サラワク州(ボルネオ島)にて、熱帯雨林再生を目的として、平成16年まで9回に亘り植林活動をしてきた。平成11年は全国植樹祭の年で大分県の協力・参加が得られ、またこの年から国際ソロプチミスト白杵が参加・協力団体となり平成16年まで続いた。だがこの活動の支援母体である三重農高が平成20年3月で閉校となったため、支援母体がなくなってしまった。三重農高OBの方と話す機会があり、「NPO法人としたら活動が続けられるかもしれない」と進言したのがNPO法人化のきっかけとなった。

その予備調査のために平成19年8月、大人ばかりの有志26名のツアーを組んで出かけて行った。地球環境問題についてテレビや新聞で見たりしていたが、実際、体験してみるとのはやはり大違いである。地球環境を守るためには我々一人一人が行動をおこさねばならないことを身体で体感した。帰国後NPO法人化設立活動に取り組み、平成20年6月に認証された。

「緑の大地の会」第1回目の活動として、平成20年8月に高校生・大学生14名を含めた総勢27名でボルネオ植林活動を行った。森林局の局長をはじめ現地スタッフの応援を得て植林をしたが、単なる海外観光旅行とは異なる心の充実感を味わった。

NPO法人「緑の大地の会」は、地球温暖化対策の一つとしてボルネオ熱帯雨林の再生のための植林、国際協力、そして次世代を担う若者にその精神を引き継ぐことを大きな目的としている。若者を連れていくため渡航費用の半額(約10万円)をNPO法人が負担することにしており、法人の予算の大半はこの費用に使用される。賛同していただけたら、会費又はご寄付をお願いできれば幸いです。

Fax.097-554-7479 Tel.097-554-7476

銀行口座：大分銀行 寒田団地支店 普通5351145 (「緑の大地の会」代表 寺尾 英夫)

特定非営利法人(NPO)「緑の大地の会」とは

地球温暖化、熱帯雨林減少、地域の山林・田畑の荒廃等壊れつつある地に歯止めをかけたい。そんな思いでNPO「緑の大地の会」を設立しました。

これまでの実績

- ・ボルネオ島サラワク州植林活動(26名)
(2007年8月)
- ・Sさん宅の椎茸駒打ち加勢(13名)
(2007年3月)
- ・Oさんの山林下刈り加勢(12名) など
(2007年11月)



ボルネオ植林風景

これからの具体的な事業内容

- ①くじゅう連山の自然林散策とゴミ拾い
- ②ボルネオ島サラワク州での植林事業
- ③森林・林業に関する啓発活動
- ④地球環境維持・改善に関する啓発活動
- ⑤森林・田畑の維持のための援助活動
- ⑥発酵肥料利用の促進
- ⑦その他



ボルネオ植林を終えての記念写真



11月20日にボルネオ島での植林活動を広瀬大分県知事に報告に行き、知事から我々の活動とこれからの取り組みを高く評価して頂き、勇気づけられました。



三重農業高校の生徒と交流を続けていた現地のグリーンロード・ハイスクールの生徒と楽しいひとときを過ごしました。